



## ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて



◆対象児 深谷市にお住まいの生後2か月から5歳未満（5歳の誕生日の前日まで）の乳幼児。  
生後2か月から開始できるワクチンです。早めに予防接種の予定をたて、計画的に受けていきましょう。

※保護者が同伴することができない場合は、委任状が必要となります。

※他のワクチンとの同時接種については、早く免疫をつけたり、接種を受けるための受診回数を少なくするために  
行われ、医師の判断と保護者の同意によって行うことができます。効果と副反応をよくご理解いただき、医  
師と相談した上で接種しましょう。

### ★ヒブワクチン(最大4回まで)★

インフルエンザ菌b型（ヒブ）は髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な感染症を起こします。ワクチンによる副反  
応としては、接種部位が赤くなったり、腫れやしこり、痛みがある他、不機嫌、食欲不振、発熱などの症状が報  
告されています。

	接種開始時期	回数	接種間隔
1	生後2か月から7か月未満	4回	【初回接種】 1歳に至るまでの間に、27日以上（標準的には27日 から56日まで）の間隔をおいて3回接種  【追加接種】 3回目接種後、7か月以上（標準的には7か月から13 か月まで）の間隔をおいて1回接種 ※ただし、初回接種が1歳までに終了しない場合は、初 回接種を終了とし、初回接種の最後の接種が終了後、2 7日以上の間隔をおいて1回追加接種となる。
2	生後7か月から12か月未満	3回	【初回接種】 1歳に至るまでの間に、27日以上（標準的には27日 から56日まで）の間隔をおいて2回接種  【追加接種】 2回目接種後、7か月以上（標準的には7か月から13 か月まで）の間隔をおいて1回接種 ※ただし、初回接種が1歳までに終了しない場合は、初 回接種を終了とし、初回接種の最後の接種が終了後、2 7日以上の間隔をおいて1回追加接種となる。
3	生後1歳から5歳未満	1回	—

※接種開始時期により、接種回数が異なります。

## ★小児用肺炎球菌(最大4回まで)★

肺炎球菌は、ときに細菌性髄膜炎、肺炎、副鼻腔炎、中耳炎といった病気を起こします。ワクチンの副反応としては、接種部位が赤くなったり、腫れやしこり、痛みがある他、発熱などの症状が報告されています。

	接種開始時期	回数	接種間隔
1	生後2か月から7か月未満	4回	<p>【初回接種】</p> <p>2歳までに、27日以上の間隔で3回接種</p> <p>※ただし、1歳を過ぎて2回目の接種を行った場合は、3回目の接種は行わない。</p> <p>(標準的には1歳までに初回接種を終了)</p> <p>【追加接種】</p> <p>初回接種終了後、60日以上の間隔をおいて、1歳を過ぎて1回接種</p>
2	生後7か月から12か月未満	3回	<p>【初回接種】</p> <p>2歳までに、27日以上の間隔で2回接種</p> <p>(標準的には生後13か月までに初回接種を終了)</p> <p>【追加接種】</p> <p>初回接種終了後、60日以上の間隔をおいて、1歳を過ぎて1回接種</p>
3	生後1歳から2歳未満	2回	60日以上の間隔をおいて2回接種
4	生後2歳から5歳未満	1回	—

※接種開始時期により、接種回数が異なります。